



桜川市が公共下水道及び農業集落排水接続促進のための 街頭キャンペーンを実施しました

桜川市は、公共下水道及び農業集落排水施設への接続推進のため、平成26年9月10日にフードスクエア岩瀬店において街頭キャンペーンを実施しました。

当日は大塚市長をはじめ、市下水道課・環境対策課、茨城県下水道課、県西流域下水道事務所、県西農林事務所の職員が、接続推進の呼びかけとリーフレットやグッズの配布を行いました。また、地元で活躍しているゆるキャラの「いしお」くんも参加し、キャンペーンを盛り上げてくれました。

このキャンペーンは毎年行われており、周辺住民の方々に接続率向上の重要性について説明を行うなど、徐々に理解が得られてきています。

今後もイベント会場でのPR活動や、未接続世帯への戸別訪問などが実施される予定です。

県西農林事務所としても、管内市町の接続率向上のため、今後も接続推進活動を積極的に行っていきます。



キャンペーンの様子

【農業集落排水の接続率向上の必要性について】

桜川市内を流れる桜川は霞ヶ浦に流入していますが、霞ヶ浦は近年アオコが大量発生するなど、水質の悪化が問題となっています。

生活排水を適切に処理することで、水質の改善に繋がります。未接続の方は、農業集落排水施設への速やかな接続をお願いします。

- 霞ヶ浦水質保全条例にて、速やかな接続が義務づけられています。
- 施設整備前に、受益者全員から接続する旨の同意をいただいています。
- 生活排水の垂れ流しは、下流で農業用水を利用する方などに迷惑がかかります。
- 未接続世帯が多いと、当初計画に対し使用料収入が大幅に減少し、管理主体である市の財政を圧迫させます。

ご理解とご協力をお願いいたします。